
あなたと作る狩物語

ウージの使い

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あなたと作る狩物語

【著者名】

ウージの使い

NZコード

NZ5289N

【あらすじ】

ハンターを目指した少年時代、それをすべて失った少年は故郷も失つたが新たな場所で一步を踏み出し始める。一人では作れない物語。誰かが横にいるからこそ、無限に生まれる狩物語。

今、その幕が開かれる。

プロローグ 少年も崖から落ちる（前書き）

こんにちは、ウージの使いです。

ある作品を見て、どうしても書きたくなったモンスターハンター。

更新は遅くなることが予想されますが、
どうぞよろしくお願ひいたします。

プロローグ 少年も崖から落ちる

「はあ、はあ、はあ……」

少年と少女は、暑い密林であるにもかかわらず全力ダッシュで走っている。

小さい体であるにもかかわらずその服装は一部装甲もあり重たい。だから余計に体力を使うが、そんなことは言つていられない。とにかく、走ることしか考えていなかつた。

人間とモンスターが共存する時代。

人々はモンスターの脅威に怯えつつも、各地で町や村を作り、生活を営んでいた。

だが、いつモンスターが人間に危害を加えるかわからない。そんな人々を救い、モンスターと戦う人々が存在する。彼らは尊敬の念を込めてこう呼ばれる。

”ハンター”と。

ハンターたちは通常、ハンターをまとめいわばハンター連盟ともいえる”ハンターズギルド”に属している。これにより、ハンター達はクエストと呼ばれる依頼を受けギルドが定めた狩り場へと向かう。

この密林もまた、狩り場の一つだつた。

うつそうと生える木々に、じめじめとして暑い気候。

ここではコンガという牙獣種やランポスといった鳥竜種のモンスター、

草食のアプケロスなどが生息しているほか、時には飛竜と呼ばれる大型のモンスターが現れる場所であった。

しかし、その湿度からキノコがよく生えている。

なかでも「特産キノコ」と呼ばれるキノコは小さいが味はおいしく、大富豪ですら好む者もいるほどである。しかし、生えている場所にモンスターが出没することもあるため、採集をハンターに依頼することも多い。「採集クエスト」と呼ばれるこのクエストが今までに密林で行われていた。

少年少女がダッシュする数分前。

彼らは孤児であり、モンスターに襲われて親がいなかつた。

そのため、一人のハンターが二人を引き取り世話をしていた。

言い忘れていたが、二人は兄弟ではない。それぞれ別の親がいたのだが、二人とも同じ村の住人だったので同じハンターの元で暮らすようになったのだ。

そしてそのハンターは採集クエストなど危険度が低いクエストには二人を連れていった。

どうやら二人に後を継げるほどのハンターになつてもらいたかったようであり、それは一人の目標でもあった。

「ふう、これで10本だね」

「まだ依頼の半分があ」

少女の嬉しそうな声と比べ少年の声は重い。

少年は薄い紫、少女は明るい緑色の髪をしており
二人ともバトルシリーズと呼ばれるケルビやブルファンゴの毛皮からできた

鎧を身につけており少年の背には鉄刀という太刀が、少女の背には
チーフシックルという
双剣があった。

「先生、どこ行つたんだろうな」

「ランポスの群れを追つていちゃつたもんね……ドスランポスがい
るかもつて」

ドスランポスは肉食のランポスの群れを統べるリーダーであり、通常のランポスよりはるかに危険なのだ。

「だからつてや……」

クエェェェェ～！

突然聞こえたモンスターの声に一人はハツとして空を見る。
そこには翼を広げ飛んでいた大きなモンスターの姿が。

「あれは…… イヤンクック！？」
「やばい、逃げるぞ！？」

桃色の体に大きな耳をしたイヤンクックは鳥のような姿だがそのサ
イズはふつうの鳥よりもはるかに大きい。ハンターの登竜門として
有名だが、一人にとつてはいくらなんでも早すぎる相手であった。

「 「はあ、はあ、はあッ……」

二人は一気に逃げ出した。しかし、それを見ると陸に降り立つていたイヤンクックは

「クエニニニニニニッ！」

叫び声をあげると一人のほうへ走ってきた。

「うわっ、来たあ！」

少女が泣き声に近い声を上げる。
さらに悪いことに……

「おい、今度はランポスかよ！」

ダッシュする一人の目の前に現れたのは青い体をした肉食の鳥竜種、ランポス。

特に強いというわけではないのだが、群れで責められると厄介だ。

「くつ……」のー

「おひあー！」

二人は武器をふるつてランポスを蹴散らす。

クエニニニニ！

だが、再びあの怪鳥の声が聞こえた。

ものすゞく近くから。

「 「わあわあわあわあっ！－！」

再び少年と少女はダッシュで逃げ始める。
だが、さすがにスタミナが限界だった。

「はあ、もう……ダメ……」

とうとう少女が膝をつく。

「大丈夫かミチル！」

少年が慌てて駆け寄る。

だが、その後ろからはイヤンクックが走ってくる。

「ちょっと、休ませて……」

「わかった。ここにいろよ」

そういうつて少年は太刀を抜いた。

ミチルがダウンした以上、もう逃げるわけにはいかない。

目の前に近づいてきたイアンクックとにらみ合いつと

「はああああーー！」

距離を詰め、相手に斬りかかる。

しかし、攻撃を食らつたらひとたまりもないのですぐに離れる。

だが、再び斬りかかるうとした瞬間、イアンクックは翼を広げ急に飛び立つた。

「うわーー！」

その風圧に、小さく軽い体はあつさり飛ばされる。

……よつとよつて、崖の向いへいく。

その瞬間はミチルにもはつきり見えた。

崖下に落ちていく少年を見て、ミチルは叫ぶことしかできなかつた

■ ■ ■ ■ ■

「いや、そんな、ユニークだー。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5289n/>

あなたと作る狩物語

2010年10月9日19時01分発行